

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

——「環境首都なごや」を目指す
名古屋 220 万市民の環境学習拠点施設——

名古屋市環境企画部 環境活動推進課主査*

おお さわ かつ とし
大澤 勝利



コバちゃん

■「環境首都なごや」を目指して

かつて名古屋市のごみ処理量は一貫して右肩上がりが増えて続け、1998（平成10）年度には年間100万トンに迫り、焼却・埋立の両面で処理能力の限界を迎えつつありました。このような状況の中、市の南西に位置する藤前干潟に次期埋立処分場を建設する計画を進めていましたが、藤前干潟が渡り鳥の重要な飛来地であることから、貴重な自然環境の保全を求める声が高まり、1999（平成11）年1月に藤前干潟の埋立中止を決断しました。翌2月に「ごみ非常事態宣言」を発表し、市民・事業者の皆様にも名古屋市のごみ処理の窮状を率直に伝えるとともに、市民・事業者・行政の協働のもとで大幅なごみ減量を訴えました。その後、徹底した分別・リサイクルの取り組みによりごみ処理量および埋立量は大幅に減り、資源分別量は倍増しました。

名古屋市が「環境首都」を目指すようになったのにはこのような背景があり、市民一人ひとりが環境問題を自分のことと捉え、ごみの分別をはじめとする環境にやさしい行動をしていくうえで、環境学習の果たすべき役割は非常に高いものとなっています。

■エコパルなごやの事業概要

名古屋市環境学習センター（愛称：エコ

パルなごや）は、身近な環境から地球環境まで楽しみながら幅広い視野で環境問題を考え、取り組んでいくための第一歩となる環境学習の拠点施設です。

名古屋市にはごみの減量やリサイクルに視点を置いた「リサイクル推進センター」が、2013（平成25）年3月の閉館を受けて、「エコパルなごや」にごみ減量・リサイクルに関する情報提供や普及啓発等の事業を統合して、より総合的な環境学習を推進していくことになりました。

エコパルなごやでは楽しく環境学習を進めるための事業や展示を数多く行っています。その中でも他施設にはない特有のものとしてバーチャルスタジオがあります（図1）。これはまるで本物のテレビ番組の回答者になった気持ちを味わいながら、映像上のマスコットキャラクターのコバと対話をしながら環境について学ぶプログラムです。プログラムの一つ、「ごみ減量大作戦」ではクイズやプラスチックリサイクル工場の様子を通して3R（リデュース・リユース・リサイクル）の重要性について、学校でごみについて学ぶ小学校4年生をはじめ、小さな子どもから大人まで幅広い年齢層の方に楽しく学んでいただくことができます。他にも、生態系編、生活編や幼児用など、全部で5つのプログラムがあります。

また、ワークショップは楽しい工作や実

*（2015年2月13日現在）

験をしながら、環境にやさしいライフスタイルを発見するプログラムです。空き缶を使った小物入れを作りながら資源の有用性と物を大切に使うことの必要性について学ぶ「アルミCAN-CAN」など、全部で13種類のプログラムがあります。

リサイクル推進センターから引き継いだ事業としては、リユース家具展示販売があります。市が回収した粗大ごみのうち再使用が可能な家具類を修理し展示販売するので、主に本市南区の南リサイクルプラザで行っていますが、その一部をエコパルなごやでも展示販売しています。

「くるくるハンドルリサイクル」もリサイクル推進センターから引き継ぎました。アルミ缶、スチール缶、その他のごみを分別する模型です。市内の破碎工場の工程をモデルとして作成したもので、機械によるごみの分別を簡単にわかりやすく再現しており、子どもたちが大変人気があります。

そのほか、環境活動に熱意のあるNPOや企業、環境問題に熱心に取り組む学校などの活動を月替わりで紹介する「マンズリー企画展示」、環境に関する情報・講座やイベント情報などを掲載する小学校高学年から大人向けの情報誌「エコパルなごや」の発行など、環境問題をより身近に感じ、環境に配慮したライフスタイルへと発展していただけるよう事業を展開しています。

■なごや環境大学

エコパルなごやには「なごや環境大学」の実行委員会事務局を置いています。なごや環境大学は、愛知万博（愛・地球博）が開催された2005（平成17）年に開講した市民／市民団体、企業、教育機関、行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄り学び合う



図1 パーチャルスタジオ

ネットワークです。「環境首都なごや」および「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ（共育）」ことを目的としています。具体的には、環境に関する講座やゼミナール、イベントなどを実施し、現在では年間およそ150もの講座やイベントが開催され、その受講者は2万人以上に上っています。エコパルなごやとなごや環境大学は、連携しながら事業を進めています。

■エコパルなごやの今後

エコパルなごやは1995（平成7）年12月に開館し今年でちょうど20年目を迎えます。

本市の子どもたちが中学校を卒業するまでに一度はエコパルなごやで学んでいただけるよう、また、より多くの市民の方に活用していただけるよう、環境に関する情報提供、体験学習、相談等を継続し、環境学習の推進に努めてまいります。